

スペイン南東部バレンシア州に位置するアリカンテ大学のスペイン語コースへ通う、加藤優花さんにお話を伺いました。

大学でスペイン語を勉強しているので、随分前から漠然とスペインに留学するんだと思っていました。

実際準備を始めたのは1年弱ぐらい前からで、実際に申し込み作業をしたのは6ヶ月ぐらい前です。

荷物とかの準備は、ぎりぎりでした。(笑)

アリカンテ大学にしたのは開始日が沢山あって、1週間単位で申し込みができたから。でも、スペインへの留学に関する情報がやっぱり少なく、特に大学に行きたかったので情報収集に苦労しました。



まだまだ途中段階ですが、美味しくそうですね。



ホストファミリーと一緒にアロス(アリカンテ地方のパエリア)をつくっているところ。

日本の国のことを知らないと、授業についていけない!

日本の人口とか自分の国の基礎知識を勉強しておくことは重要ですね。他の国の学生はバンバン答えるんです。

物で持ってくれば良かったと思ったものは、日本食の食材ぐらいで、服とかはかわいいデザインのものがかっちで買えるので持ってこなければ良かったと思ってます。(笑)

日本食は流行もあって、スペイン人の友達が増えると必ず作って!とせがまれます。カレーなんかは死んでもいい!とまで言われました。

カレールーや焼きそばソースなどの食材は持ってきた方がいいですね。



En la playa...



En el Campus...



Con la familia...

今になって、もっと色々なことを学べばよかったと思う。

あと2週間ほどで留学が終了するんですが、もっと、文法だけでなく、文化や色々なコースをとれば良かったと思っています。今、文法の授業以外に文化のコースを受講しているのですが、スペインの色々なことが学べてすごく楽しいんです。

スペインに来る前に、もっとスペインのことを勉強してくれば良かったです。

そしたらもっと楽しめたと思う。もちろん日本のことも。

留学 = 人とのつながり。

スペイン語(語学)より大事なものを見つけました。

留学期間中ホームステイをしたんですが、とても満足しています。ホストファミリーの支えがあってこそ、安心して、充実した留学生活を送れたと、とても感謝しています。

大学は決して日本人が少ないという環境ではなく、最初は自分のモチベーションをあげるのに戸惑ったけれど、みんなそれぞれ違う目的で留学してきてるということがわかりました。スペイン語だけを上達させたいのではなく、文化やスペインの社会を学びにきてる人もいて、人それぞれということに気付けたのはとても良かったです。学習環境は自分次第でよくも悪くもなるもんだと思います。

それに、この留学で気がついたのが、スペイン語が上手(文法的に完璧)という事以外にもっと大事なことがあるんですね。それは相手に対する思いやりだったり、誠実さだったり。伝えたいって言う気持ち。それは日本語でもそうなんだと思います、国籍関係なく。

私にとって留学は人とのつながりだったと思います。アリカンテ大学に留学したことでスペイン語だけじゃなくて本当に色々なものを学ぶことができたし、これからもこの経験を生かしていければと思います。

取材:アリカンテ大学語学教育センター



Universidad de Alicante